

# PJP-VC1

IP テレビ会議用コーデックボックス

## 取扱説明書

ヤマハ PJP-VC1 をお買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。

本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。  
本書はなくさないように、大切に保管してください。

## 目次

はじめにお読みください	▶ 2ページ
安全上のご注意	▶ 2ページ
使用上のご注意	▶ 5ページ
各部の名称とはたらき	
• 正面	▶ 6ページ
• 背面	▶ 7ページ
設定項目一覧	▶ 8ページ
最新の機能を利用する(リビジョンアップ)	▶ 9ページ
サポート窓口のご案内	▶ 9ページ
主な仕様	▶ 10ページ

# はじめにお読みください

ご購入いただき、ありがとうございます。

本機は別売のPJP-300Vをインターネットなどのネットワークに接続するためのIPテレビ会議用コーデックボックスです。

## 付属品をご確認ください

- ACアダプター (1個)
- 電源コード(1本)
- LANケーブル(1本)
- S端子ケーブル(1本)
- シリアルケーブル(1本)
- 取扱説明書(本書)(1冊)
- 保証書(1枚)

## 安全上のご注意

### 本機を安全にお使いいただくために

以下の点を必ず守ってお使いください。

#### 安全のための注意事項を守る

詳しくは、3～5ページをご覧ください。

#### 故障したら使用を中止する。

ご購入の販売店またはヤマハのお問い合わせ窓口(9ページ)にご連絡ください。

## マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。

### 警告

人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。

### 注意

機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の内容および本体の仕様は、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本機を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本機の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

# 警告

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機(付属品を含む)は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠していません。
- 本機は一般オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するようには設計されていません。  
本機を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 付属の電源コードは国内用です。AC100Vのコンセントに接続して使用してください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、および電源コードが発熱しているときは、直ちに電源コードをコンセントから抜いてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 電源コードの上に重いものを載せたり、電源コードをステーブルで止めたりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- 安全のため、電源コードは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。家具の後ろなど手の届かない場所にあるコンセントには接続しないでください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源を入れたままケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本機および接続機器の破損の恐れがあります。
- 本機のポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。
- 本機を他の機器と重ねて置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源コードやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。
- 本機を下記の場所には設置しないでください。水滴の混入により、火災や感電の原因となります。
  - － 浴室、加湿器を適度にきかせた部屋など
  - － 雨や雷、水がかかるところ

# 注意

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

- 本機のコネクタ部分には直接手を触れないでください。本機は静電気に敏感な部品を使用しているため、部品が故障する恐れがあります。コネクタの接点、部品などを素手で直接触れないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にふき取ってください。ほこり等が付着した状態で使用すると、故障や動作不良の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。正しく接続しないと、故障や動作不良の原因となります。
- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、電源コードをコンセントから抜き、乾燥させ、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- アースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。アース接続は必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源コードをコンセントから取りはずしてから行ってください。
- 本機を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本機の設定を記録しておいてください。

# 使用上のご注意

- 本機の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 誤動作や故障により本機の記録内容が変化・消失する場合があります。通話履歴などの重要なデータはお客様の責任のもと、定期的に記録されることをお奨めいたします。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

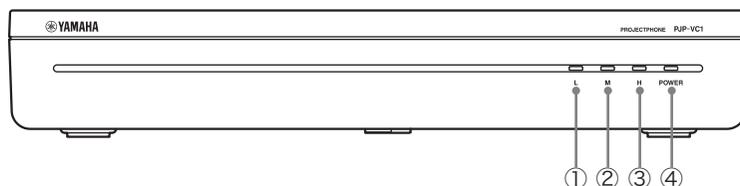
## 高調波について

JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

# 各部の名称とはたらき

## 正面



### ① Lインジケータ

通信状態を示します。

- 接続中：橙色点滅
- 64-256Kbps未満での通信中：橙色点灯
- 着信中：橙色点滅

### ② Mインジケータ

通信状態を示します。

- 256-768Kbps未満での通信中：橙色点灯
- 着信中：橙色点滅

### ③ Hインジケータ

通信状態を示します。

- 768-1920Kbps未満での通信中：橙色点灯
- 着信中：橙色点滅

### ④ POWERインジケータ

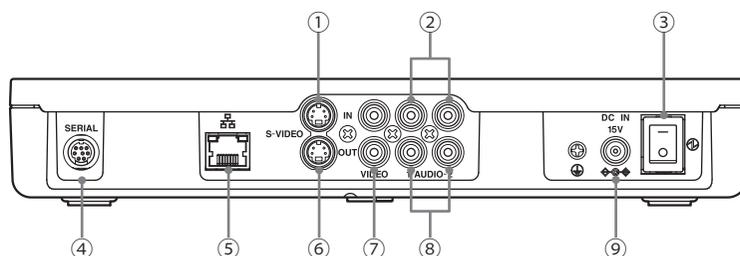
スタンバイ(待機状態) / オンの状態を示します。

- スタンバイ(待機状態)：橙色点灯
- オン：緑色点灯

#### ご注意

- POWERインジケータが点灯しない場合は、POWERスイッチがオンになっているか確認してください。また、PJP-300V取扱説明書を参照しACアダプターおよび電源コードが正しく接続されているか確認してください。
- L/M/Hインジケータが正しく点灯/点滅しない場合は、LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、PJP-300V取扱説明書を参照しPJP-300Vの設定が正しくされているか確認してください。

# 背面



## ① S-VIDEO IN 端子

映像信号を入力します。

## ② AUDIO IN 端子

音声信号を入力します。

## ③ POWER スイッチ

本機の主電源をオン／オフします。

## ④ SERIAL 端子

PJP-300VのSERIAL端子に接続します。

## ⑤ LANポート

パソコンやルーター、HUBなどのネットワーク機器とLANケーブルで接続します。

## ⑥ S-VIDEO OUT 端子

ディスプレイ(テレビやプロジェクターなど)に映像信号を出力します。

## ⑦ VIDEO OUT 端子

ディスプレイ(テレビやプロジェクターなど)に映像信号を出力します。

## ⑧ AUDIO OUT 端子

音声信号を出力します。

## ⑨ DC IN 15V 端子

付属のACアダプターを接続します。

# 設定項目一覧

本機の設定項目について詳しくはPJP-300V取扱説明書「本機とVC1の設定項目一覧」(51ページ)をご覧ください。

メニュー		PJP-300V取扱説明
ネットワーク設定	DHCP	51ページ
	IPアドレス	51ページ
	ネットマスク	51ページ
	ゲートウェイ	51ページ
	DNS	51ページ
	UPnP	51ページ
	通信モード	51ページ
	最大通信速度	52ページ
	ネットワークロス対策	52ページ
	H.323	52ページ
	SIP	52ページ
映像設定	映像符号化モード	53ページ
	画質モード	53ページ
	パケットロス補償	53ページ
	カメラ追尾	53ページ
	カメラ追尾感度	53ページ
	カメラホールド時間	53ページ
サウンド設定	ルームサイズ	54ページ
	音声符号化モード	54ページ
	音声遅延	54ページ
	パケットロス補償	54ページ
環境設定	自室名称	55ページ
	日付、時刻	55ページ
	着信モード	55ページ
	着信音量	55ページ
	設置状態	55ページ
	待機モード	55ページ
管理者設定	パスワード登録	56ページ
	VC1連動	56ページ
	初期化	56ページ
	ファームアップデート	56ページ
	装置情報	56ページ

# 最新の機能を利用する (リビジョンアップ)

本機の機能を管理するプログラム(ファームウェア)をインターネット経由でダウンロードして、最新の機能をご利用いただけます(リビジョンアップ)。

詳しくはPJP-300V取扱説明書「最新の機能を利用する(リビジョンアップ)」(63ページ)をご覧ください。

## サポート窓口のご案内

---

### お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

#### お客様相談センター

TEL : 053-460-2822

#### ご相談受付時間

9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

#### お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

# 主な仕様

## 外形寸法(幅×高さ×奥行き)：

280mm×45mm×173mm

## 質量：

1.3kg (ACアダプター含まず)

## 電源：

AC100V (50/60 Hz)

## 消費電力：

21W

## 動作環境条件：

周囲温度 0～40 °C

周囲湿度 20～85 % (結露しないこと)

## 電波障害規格：

VCCIクラスA

## LANインタフェース：

イーサネット 10BASE-T/100BASE-TX

プロトコル：IEEE802.3/IEEE802.3u

通信モード：オートネゴシエーション、固定  
設定

コネクタ：RJ-45

MACアドレス：設定メニュー操作によりデ  
ィスプレイに表示

極性：ストレート/クロス自動判別

## 音声入出カインターフェース：

ステレオアナログ入出力(各1系統)

コネクタ：ピンジャック

## 映像入出カインターフェース：

S-ビデオ、ビデオ(各1系統)

コネクタ：S端子、コンポジット端子

## シリアルインターフェース：

RS232C準拠

コネクタ：ミニDIN

## 通信プロトコル：

H.323、SIP

## 音声符号化：

G.722 (64kbit/s)、G.711μ-law/A-law  
(64kbit/s)、G.729a (8kbit/s)

## ビデオ符号化：

H.261、H.263、H.264

解像度：CIF

## 付属品：

ACアダプター (1個)

電源コード(1本)

LANケーブル(1本)

S端子ケーブル(1本)

シリアルケーブル(1本)

取扱説明書(本書)(1冊)

保証書(1枚)





● お客様相談センター

TEL 053-460-2822

ご相談受付時間

9時～12時、13時～17時

(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)

お問い合わせページ

<http://www.yamaha.co.jp/projectphone/>

WJ29900